

大会役員

第 2 回

少年剣道まつり大会

5 月 3 日 9:00

市立桜岡小学校体育館



顧問	問	蘭 與志男
大会々	長	港南剣友会長 杠 文吉
大会委員	長	大井忠勇
審判長	長	石渡清治
審判員		大井先生・木梨先生
"		石渡先生・荒木先生
"	副	伊東廣明・山田元茂
"	審	伊藤靖・関根義規
		村井保
進行係		伊藤靖
場内係		関根義規・伊東廣明
		山田元茂・大井啓次
		高校生
記録、採点、召集係		高山好松・渡辺喜一
		石沢国正・高校生
賞品係		伊藤靖
受付、接待係		飯島猛外実行委員
会計係		飯島猛・関根義規

主催 港南剣友会

以上

会員居住地区別略図



第 3 回

少年剣道まつり大会

昭和49年5月5日 9:00

市立桜岡小学校体育館



主催 港南剣友会

xxxx プログラム xxxx

1. 選手入場
2. 開会宣言 司 会 渡 辺 喜 一
3. あいさつ 港南剣友会長 江 文 吉
4. 優勝杯返還 芹ヶ谷チーム
5. 選手宣誓 選手代表 加 藤 世 津 也
6. 日本剣道形 打太刀 石 渡 教 士
仕太刀 大 井 教 士
7. 基本者演技 指 導 伊 東 先 生
8. 基本者競技 ボール送り踏居面打リレー

◀ 休 憩 昼 食 ▶

9. イ. 港南剣友会の歌発表
ロ. 剣道となぎなた
ハ. 剣道と槍術
ニ. 剣道と銃剣術
10. 高 点 試 合 1年～2年 中 学 生
3年～4年
5年～6年

11. 地区別対抗試合

- | | |
|------------|-------------|
| 上大岡, 港南チーム | 下水谷Bチーム |
| 大久保, 最戸チーム | 下水谷Cチーム |
| 日野 Aチーム | 芹ヶ谷チーム |
| 日野 Bチーム | 大岡チーム |
| 上永谷 Aチーム | 磯子チーム |
| 下水谷 Aチーム | 戸塚, 井戸ヶ谷チーム |

12. 表 彰 精, 皆勤賞 優秀優良賞
13. 閉 会 の 辞 後援会長 高 橋 源 寿

★お願い 履物入れビニール袋など各自ご用意ください。
自家用車の運動場乗入れは禁止されています。
正門入口の空地に駐車ください。

港南剣友会の歌



作詞 紅 文吉
作曲 渡 達 且

第 4 回

少年剣道まつり大会

昭和50年5月5日 9:00

市立桜岡小学校体育館

animato

風 々 し し もー し の ぶ が ま く ら の
 吹 び り け つ ぶ ー く こ り ん は
 し と も の ん ね は けん ぶ の お か こ い が こ ぼ ま す
 おー ぶ は め ん けん し お だ ら が こ う げ ん
 けん ち ゅ う かい え ん ぶ れ ぶ ぶ ぶ



港南剣友会の歌

一 歴史をしのぶ 鎌倉の
 緑につづく港南は
 史跡をめぐれば 剣道の
 若い気合がこだまする
 ああ少年剣士
 われらが港南剣友会
 「ソンド、ソンド、ソンド」
 以下同じ

二 朝の庭に 剣をとり
 夕べの窓に ふみを読む
 文武の精神を 胸に秘め
 もえる気合の 二段うち
 ああ少年剣士
 われらが港南剣友会

三 坂が丘の 誇りなる
 息い 真実の剣を 受けつぎて
 吹きすがしく 躍る技に
 若い気合の 剣の道
 ああ少年剣士
 われらが港南剣友会

主催 港南剣友会

**** プログラム ****

1. 選手入場
2. 会歌合唱
3. あいさつ
4. 優勝杯返還
5. 日本剣道形
6. 基本者競抄
7. 防具着用者競技

港南剣友会々長、紅 文吉

◆ 休憩 昼食 ◆

< 異種試合 >

8. トーナメント
1年～2年 3年～4年
5年～6年 中学生
女子部

9. 地区別対抗試合

上大岡・港南チーム	大久保・最戸チーム
下永谷A,B,Cチーム	芹ヶ谷チーム
上永谷A,Bチーム	日野チーム
磯子・金沢チーム	戸塚チーム
其他混成チーム	

10. 表彰
皆・精勤、優秀優良賞

11. 閉会のことば
後援会長 高橋源寿

● お願い
荷物入れのビニール袋など各自にご用意ください。
自家用車の運動場乗入れは禁止されていますので
正門入口の空地に駐車ください。

第五回

少年剣道まつり大会

日時 昭和51年5月5日 午前9時

場所 桜岡小学校体育館

主催 港南剣友会



港南剣友会の歌



作詞 紅 文吉
作曲 渡 博 昌

animato

- こうなんけんゆうかいのうた
- 一、
れきしをしのぶ かまくらの
みどりにつづく こうなんは
しせをめぐれば けんどうの
わかいきあいがか こだます
あしよりねんけんし
われらが こうなんけんゆうかい
「ソング・ドレー、ソング・ドレー」
以下同じ
- 二、
あしたのにはに けんをと
ゆうべのまどに ふみをよむ
ぶんぶのころを わねにひめ
もえるきあいの にだんうち
あしよりねんけんし
われらが こうなんけんゆうかい
さくらがおかの ほこりなる
まことのけんを うけつぎて
いさすがしく、ねるわざに
わかいきあいの けんのみち
あしよりねんけんし
われらが こうなんけんゆうかい
- 三、
さくし けんすりは
きこしく わたなべ
ぶんまろ
わたる

プログラム

1. 一同入場 9:00
2. 開会宣言 伊藤 靖
3. 港南剣友会の歌
4. あいさつ 港南剣友会長 江 文吉 ●
5. 感謝状贈呈
6. 優勝杯返還
7. 選手宣誓 少年代表 花井 達人
8. 一同退場
- <休 息>
9. 日本剣道形 打太刀 数士六段 石渡 清治 ●
仕太刀 数士六段 大井 忠勇 ●
10. 基本者演技 指 導 伊 東 宏 明
11. 競 技 ボール送り 基 本 者
踏居ワレー7級上 防 具 着 用 者
12. 少年剣舞 横浜詩武道会
剣舞・川中島 小学1年 中島 純子
詩吟・偶成 中学1年 塩野 博子
剣舞・金州城外作 中学1年 河原 奈美江
・日本刀を詠ず 中学2年 河原 正和
吟詠 会長 宮崎 浦 籍 先生
13. 異種試合
剣道と槍術、剣道と銃剣術
14. 高 点 試 合
1年～2年 3年～4年 5年～6年 中学生の部
女子部(中・高校生) 一 般
15. 地区別対抗試合
上大岡 対 港南チーム
大久保 対 最戸、別所チーム
日野Aチーム 対 下永谷Aチーム
日野Bチーム 対 下永谷Bチーム
野庭上永谷チーム 対 大岡チーム
磯子混成チーム 対 戸塚混成チーム
16. 表 彰
17. 閉 会 15:00

備考

表紙画 高校1年 奥田 恵美

* 荷物入れのビニール袋など各自にご用意ください。
自家用車の運動場乗入れは禁止されていますので正門入口の空地に駐車ください。

第6回

少年剣道まつり大会

日時 昭和52年5月5日9時

場所 桜岡小学校体育館

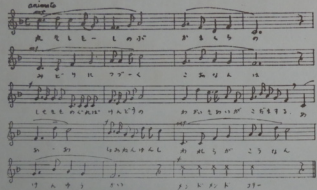


主催 港南剣友会

港南剣友会の歌



作詞 江 文 彦
作曲 渡 邊 邦 雄



こうなんけんゆうかいのうた

さくし ゆずりは ぶんきち
さつきよく わたなべ わたる

一、れきしをしるぶ かまくらの

みどりにつくく こうなんは
しせきをめぐれば けんどうの
わかいきあいが こたまする
ああ しょうねんけんし

われらが こうなんけんゆうかい
「メン・ドー、メン・ドー、コテー」

以下同じ

二、あしたのむねに けんをとり

ゆうべのまどに ふみまをむ
ぶんぶのころを わねにひめ
もえるまあいの にだんうち
ああ しょうねんけんし

われらが こうなんけんゆうかい

三、さくらがおかの ほこりなる

まことのけんを うけつぎて
いぶきすがしく おるわざにて
わかいきあいの けんのみち
ああ しょうねんけんし

われらが こうなんけんゆうかい

プログラム

司 会 伊 藤 靖

1. 一 同 入 場

2. 開 会 宣 言

3. 港南剣友会の歌

4. あ い さ つ

港南剣友会★長 紅 文 吉 ●

5. 優 勝 杯 返 還

花 井 進 人

6. 選 手 宣 誓

杉 山 正 幸

7. 審 判 長 注 意

教士七段 木 梨 実

8. 一 同 退 場

〔演 武〕

9. 日 本 剣 道 形

打太刀 教士六段 石 渡 清 治

仕太刀 教士六段 相 田 玲 二 ●

10. 基 本 者

指導 伊 東 広 明

〔観 技〕

11. 基 本 者

打込 観 技 指導 伊 東 広 明

伊 藤 靖

栗 原 正

12. 防 具 着 用 者 (8、9 組)

練習シレー 指導 伊 東 広 明

13. アトラクション 横浜詩武道会

詩 吟 伏木 鴻 錦、塩野 博 子、塩野 節 子

剣 舞 白 虎 隊 河原 奈 美 江、河 原 正 和、成 田 増 美

吟 詠 宮崎 鴻 鶴 先生

居 合 石 崎 鴻 清、伏 室 鴻 弘、岡 本 鴻 章

和歌朗詠 宮崎 鴻 鶴 先生

詩 舞 名 槍 日 本 号 宮崎 鴻 鶴 先生

● 14. 異 種 試 合

剣道対銃剣術 石 渡 清 治、関 根 義 規

15. 高 点 試 合

1年～3年、4年～6年、中学生及女子部、高校一般

16. 地 区 別 対 抗 試 合

上大岡チーム～港南チーム 剣道教士 関 根 義 規、石 渡 清 治

大久保殿戸チーム～大岡チーム 栗 原 正、関 根 義 規

日野 A チーム～下永谷 A チーム 伊 東 広 明、木 梨 実

日野 B チーム～下永谷 B チーム 伊 東 広 明、木 梨 実

上永谷チーム～別所六ツ川チーム 相 田 玲 二、伊 藤 靖

磯子金沢チーム～戸塚其他チーム 伊 藤 靖、伊 藤 靖

17. 表 彰

18. 精 勤 賞 授 与

19. 講 評

20. 閉 会 の こ と ば

港南剣友会の歌



作詞 松 文 彦
作曲 渡 達 彦

楽譜 (Musical score) with lyrics in Japanese characters and Roman numerals (I, II, III) indicating different parts of the song.

一、れきしをしのお かまきらの
みどりにつぶく こうなんは
しせきをめぐれば けんどうの
わかいきあいがか こだまする
ああしやうねんけんし
われらが こうなんけんゆうかい
「ブンドー、メン・ドロー、コアー」
以下同じ

二、あしたのにはに けんをとり
ゆうべのまどに ぶみをよむ
ぶんぶのこころを むねにひめ
もえるきあいの くだらんうち
ああしやうねんけんし
われらが こうなんけんゆうかい
まことのけんを ほこりなる
まことのけんを うけつぎて
いぶきすがしく ねるわざに
あわいさあいの けんのみち
ああしやうねんけんし
われらが こうなんけんゆうかい

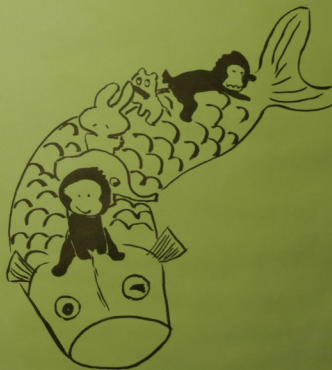
三、さつきよく わたなへ わたる
さつきよく わたなへ わたる
さつきよく わたなへ わたる

第7回

少年剣道まつり大会

日時 昭和53年5月5日9時

場所 桜岡小学校体育館



主催 港南剣友会

プログラム

1. 一同入場

2. 開会宣言

3. 港南剣友会の歌

4. あいさつ

5. 優勝杯返還

6. 選手宣誓

7. 審判長注意

8. 一同退場

〔演武〕

9. 日本剣道形

10. 基本者

11. 防具着用者(8,9組)

司会 伊藤 靖

港南剣友会会長 高橋 源 寿

杉山 正 幸

島山 利 人

教士七段 木 梨 実

打太刀 教士六段 石 渡 清 治

仕太刀 教士六段 大 井 忠 勇

指導 伊 東 広 明

栗 原 正

打込組長 指導 伊 東 広 明

伊 藤 靖

奥 田 政 紀

裏紙面 高校3年 奥 田 康 美

12. かかり稽古 5年、6年、中学生以上

元監 木 梨 実
石 渡 清 治
大 井 忠 勇
相 田 玲 二
三 橋 武 夫
鈴 木 正 太郎
伊 東 広 明
伊 藤 靖

13. トーナメント試合

1、2年、3、4年、5、6年、中学生

14. 地区別対抗試合

上大岡、港南チーム 担当教士 石 渡 清 治、 関 根 義 順
大久保、犀戸、大岡チーム 大 井 忠 勇、 栗 原 正
日 野 チーム 三 橋 武 夫、 奥 田 政 紀
下 水 谷 チーム 木 梨 実、 伊 東 広 明
上永谷、別所、六ッ川チーム 相 田 玲 二、 増 子 達 吉
磯子、金沢、戸塚、その他チーム 伊 藤 靖、 渡 辺 真 一

15. 表 彰

16. 精勤賞授与

17. 講 評

18. 閉会のことば

* 観物入れのチーム袋など各自にご用意ください。
自家用車の運動場乗入れは禁止されていますので正門入口の空地に駐車ください。